

学習課題

どの学年も各教科の授業がスタートしていることと思います。教室のように黒板がある場所で行われる授業では、授業が始まりしばらくすると、目の前に「学習課題」が提示されることが多いと思います。小学校で言えば「めあて」です。

先生が黒板などに学習課題を書いている間、皆さんは何をしているのでしょうか。先生から明確な指示が出ていれば別ですが、何も指示が出ていない場合はどうでしょうか。ノートやワークシートに学習課題を写しているのでしょうか。黒板に書かれる学習課題を見て何を学習するのかを確かめているのでしょうか。課題に対して自分なりの答えを出しているのでしょうか。

大まかな授業の流れを確認してみます。

- 1) 2分前までに自分の席に座ります。
- 2) 1分前には学習を始めます。

ここまでで、その授業に臨（のぞ）む心がまえができます。授業に対する気持ちが整います。

- 3) 先生が学習課題を言うのを集中して聴くようにします。
- 4) 特別な指示がないかぎり、先生が学習課題を黒板などに書くのに合わせてノートやワークシートに書きます。先生が書き終えるのと同時に書き終えるのが理想です。
- 5) 学習課題の中で、意味がわからない言葉はないかを確認します。

このようなことをやっていくと、授業に対する集中度が上がります。この時間ではどんな学習をするのかがよくわかるようになります。これらは、授業がわかるための第一歩です。

このあとは、自分で考えたり、グループで話し合ったり、考えを書いたり、発表したりします。発表も大切ですが、自分の考えを書くことはもっと大切です。考えることは書くことであり、書くことは考えることです。

そして、授業の最後には、振り返りをします。この授業でわかったことやできたことはどんなことなのか。何を学んだのか。新たに出てきた疑問は何か。振り返りの際にも書くようにすると、少しずつ力がついていきます。

まずは、「2分前着席」を個人で、あるいは学級で習慣化させましょう。授業に臨む学級の雰囲気は、とても大切なものです。雰囲気というものは、一人一人がつくるものです。